

東北労働金庫「ろうきん地域貢献ファンド」 2008年度  
Bコース（備品購入応援コース） 助成事業報告書

21年 4月 30日

団体名（ふりがな） 特定非営利活動法人自閉症ピアリンクセンターここねっと

購入物品名 知能検査用具 WAIS-Ⅲ

連絡担当者お名前（ふりがな） 西田 有吾 （にしだゆうご）

助成金を使って購入した物品の活用状況について、記述してください。  
(購入した物品の写真は必ず添付してください。)

#### 活用状況

##### ●自己理解及び家族理解支援での活用

- ・これまで行政に頼っていた検査の実施を当法人で担えるようになった。

##### ●支援者養成研修での活用

- ・検査用具を使った研修会の場を設定できるようになった。

#### ①検査用具（その1）



#### 検査用具（その2）



②支援者養成研修



今回の物品購入によって、団体の活動や地域社会にどのような成果・効果がありましたか

●自己受容の促進と社会参加

障害判定を前提とした検査結果の説明に不安を抱えていた本人がWAIS-Ⅲ知能検査用具を使用した自己理解支援を受けることによって、障害を自己の特性として受け止め、今までのトラブルや問題などの要因として理解することができた。それまでは自分の努力不足ややる気のなさから引き起こされるものとして自分自身も周りも感じていたが、検査後は先天的な自己の特性に基づいているものであるという理解と今までの経験と自己の特性とのすり合わせが可能となり自己受容の機会となっている。支援者がいても自宅または個別スペースでの対応が必要となっていた本人も最近では小集団の場に出ていく姿がみられている。この検査では本人の課題のみならず「よさ」にも気づけるものとなっていることから今まで課題にばかり目が向いていた人も自己肯定感を得ることができる。このように現在まで自己の特徴に気づけないがゆえにやり場のない思いを抱えていた人が、WAIS-Ⅲ知能検査用具の使用により次のステップに踏み出し始めている。

●法人内支援者の養成

当法人では利用者支援の一部を支援者養成研修修了の学生が担っている。利用者支援には検査結果に基づく本人特性の理解が必要不可欠となってくる。そこには検査の実施、解釈、説明という一連の過程があるがそれは決して他人を対象とするのではなく支援者自身も自らの特性を理解するという自己理解の観点が必要となる。支援者自身も自己の特性をよく理解してから課題と「よさ」を知ることではじめて利用者にもその人一人一人の課題と「よさ」を伝えることができる。今回の助成により、支援者養成研修を開催することができWAIS-Ⅲの検査用具を使った、支援者の自己理解研修を行えた。その結果、自分を通して相手を理解できる力、自己をコントロールできる力が養われと参加した支援者の支援スキルのステップアップが見込まれた。

今回購入した物品を活用して、今後、事業をどのように展開していきますか  
また、その際に必要なものは何ですか

事業展開

●職員内での検査者養成

当法人では9名の職員がいるが今回の購入した備品を扱えるものが3名に留まっている。障害にかかわる相談件数は年々増加しており、検査者の数もその分必要となっている。検査の実施と解釈が可能検査者を一人でも多く法人職員内で養成することで増え続ける相談者の自己理解支援を可能にして本人が生きやすい方法を伝えることができると感じている。今年度は検査用具を使用した職員研修を下記のようなスケジュールで設けている。

	実施予定	内容
第一回	8月上旬	知能検査の実施
第二回	8月下旬	知能検査の解釈

必要なもの

●検査結果解釈用参考書

- ・「軽度発達障害の心理アセスメント」

助成金の使途内訳（具体的に記入してください）

収入の部

項目	金額（円）	内訳
ろうきん地域貢献ファンド助成金	100,000	
自己資金	36,500	
合計	136,500	

支出の部

項目	金額（円）	内訳
検査用具	117,600	WAIS-Ⅲ 成人知能検査用具
検査用法	10,500	WAIS-Ⅲ 成人知能検査用法
検査記録用紙	8,400	WAIS-Ⅲ 成人知能検査記録用紙
合計	136,500	

<ろうきん>へのメッセージをどうぞ。

今回のろうきんファンド助成金では大変お世話になりました。運営状況により自己投資のみでは今まで購入を見合わせていた備品の購入が可能となりうれしく思っています。今回このような形でろうきん様とつながることができ当法人が掲げている「本人中心の支援」がより実践できるように感じています。NPO と企業がWIN-WINの関係で支え合える社会を作るべく、私たちは今回の助成で得た備品を大切に扱い、本人が地域社会で貢献できる人として生きていける支援をこれからも実践していきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願い致します。